

 評価のポイント

## CL-1.専門性の開発能力

## [59-1] プレゼンテーションスキル（文脈的説明力、伝達力）

これまで自分が行った事例プレゼンテーションの中で、最も失敗したなと思うプレゼンテーションは、どのようなプレゼンテーションでしたか？そして、そのプレゼンはなぜ失敗したのでしょうか？  
これまでの講義を踏まえて考えてみましょう。

事例プレゼンテーションの失敗の経験や理由から、転じて成功のための鍵を見出すことを期待する。特に、CL- I の下記の内容が含まれることが期待される。ここでの、事例プレゼンは、同僚またはリーダー看護師などへの報告連絡相談時または、シフト間の申し送り、医師への報告時などが含まれる。

- ・ ISBARCなどの事例プレゼンの定型文を使用していなかったため、不適切な項目をプレゼンテーションしてしまった。
  - ✓ Identify：報告者と患者さんの同定
  - ✓ Situation：患者さんの状態
  - ✓ Background：臨床経過
  - ✓ Assessment：状況評価の結論
  - ✓ Recommendation：提言または具体的な要望・要請
  - ✓ Confirm：指示受け内容の口頭確認
- ・ 事例プレゼンテーションに、報告相手や場に合わせた、信頼を得る工夫がなかった。
- ・ データ、根拠、主張を使用した論理的な事例プレゼンテーションでなかったため伝わりにくかった。
- ・ 感情を動かす工夫（患者が苦しいこと、私が困っていることなど）が含まれておらず、相手に十分に重要性が伝わらなかった。